

# まこと新聞

発行者  
高島まこと  
後援会長  
明石 直大  
亀山市辺法寺町  
205  
85-1744



# 3月度定例議会一般質問

皆様、こんにちは、高島まことです。

寒い冬が過ぎ、ようやく暖かくなって参りました。あちらこちらで咲きほこっていました桜が、今や葉桜となりましたが、如何お過ごしですか？

春と云えば節目の季節でも有ります。3月には地元小学校の卒業式、4月には入学式に参加させて頂きました。通い慣れた学校を巣立ち、新しい環境での新生活が始まります。早く慣れ親しんで成長して貰うことを切望してなりません。今回も教育環境について一般質問させて頂きましたが、朝「行ってきます」夕方「ただいま！」と安心安全そして快適に学校に通える環境造りが私の仕事だと一番に考えています。

さて、今回のまこと新聞 第18号は、・・・

## 3月度定例議会一般質問 4項目

- ～1. 通学路の整備について
- ～2. 鳥獣被害について
- ～3. 環境問題について
- ～4. LED化について

を詳しくお伝えしたいと思います。



## 通学路の整備について

高島：私は、毎回ここで言わせて貰っています。お前はくどいやつやと言われてはいますがそれでもこれが出来るまで私は、言い続けたいと思います。まず、通学路の件ですが、毎年PTAの方とか保護者の方、色々な地域から要望が上がって来ているかと思いますが、今年度の要望件数、内容について教えてください。

教育長：通学路の整備に向けた今年度の要望件数は、歩道、ガードレールの設置、歩道橋の改修、減速を促す標識の設置等29件、警察の要望は、信号機、一時停止、横断歩道の設置等30件です。

高島：今年度、亀山市で合計59件の要望が有るようですが、その要望に対して、改善内容を教えてください。

教育長：要望に対して改善の状況ですが、実際に進んでいるのが県で10件、34%です。警察関係で9件、30%です。内容は、カーブミラー、通学安全灯の設置、樹木の剪定による視野確保、外側線、区画線、横断歩道、一時停止線等の新設や塗り替え等です。

高島：危険箇所も沢山上がってきていると思いますが、その要望と進捗状況を教えてください。

答弁：学校関係者の方と合同危険箇所点検を実施しました。建設部所管の平成25年度要望件数は、28件有りまして、今年度危険箇所の緊急性箇所9件の対応をさせて頂きました。

高島：次に、県道辺法寺加佐登線中部中学通学路の舗装問題の件ですが、12月議会に肥田教育委員長に質問させて頂きましたが、その時の答弁で、粘り強く要望していきたいと伺っています。その後どの様に、粘り強くや

られたのかお聞かせ下さい。



答弁：今年度、県から回答がございました。自歩道の設置については平成22年度に切橋前後の整備をしたところで有り、歩行者数から自歩道を整備するには至らないとの回答で現段階では、事業化が困難です。交通量が増加するなど変化した段階で再度検討するとの回答です。現在は、歩道未設区間を通行する危険を回避するために、堤防道路を通学路としていますが、交通量等状況の変化に注視しながら、引き続き歩道設置の要望についても一定の手順に沿って関係機関に働きかけてまいりたいと思います。

高島：交通量は、関係無いかと思います。その時たまたま車が1台通って子供をはねてしまったら、どうなるのですか？車の交通量が少ないからしないのか、野登地区の子供の数が少ないからですか？どちらですか？

答弁：交通量です。

高島：交通量が解っていてその様な答弁されたのですか？

答弁：その基準は、県土木サイドですのでこちらでは解

りません。

高島：実態が解らないのに多い、少ないで県からの回答を、鵜呑みにする・・・市長に教育委員長に任命された立場の方が発言する言葉では無いと思いますが如何ですか？それに今後この問題についてどの様な取り組みをしていくのかお聞かせ下さい。

答弁：そのまま引き下がるものではございません。粘り強く解決に向かって積極的に働きかけていきます。

高島：市長にお伺いします。前回県に対して引き続き粘り強くやっていく・・・と、その気持ちは、今でもお持ちですか？

市長：従来の考え方は、全く変わっておりませんので今後も私ども市長部局もしっかり引き続いていきたいと思っておりますので御理解とご支援をお願いいたします。

## 鳥獣被害について

高島：3月8日付、伊勢新聞に依りますと今までは山口県が獣害被害で全国1位でしたが、今回、三重県が1位になったと。この件について認識はされているのですか？

答弁：獣害被害に関しましては、有害獣の個体を減らすことが一番で有ります。市と致しましては平成26年度に国の制度で有ります補助金の活用により、イノシシ、雄鹿の捕獲単価アップする等して捕獲数の増加に努めていきたいと思っております。

高島：亀山市に於いて、県にまたがるところは両県とタイアップしていく考えは有りますか？

答弁：県や市域を超えて、一斉捕獲などについて実施地域の状況などを調査して、探っ

ていきたいと思っております。

高島：イノシシや鹿の肉を利用した事業は凄くハードルが高いですが、その後進捗状況を教えてください。

答弁：肉の安全性の確保から様々な制約がございますが、捕獲後の獣肉活用については、引き続き調査・研究をしていきたいと思っております。

高島：基本的に捕獲して益になることを考えていこうと云うことは考えに有りますか

答弁：伊賀や津市等で取り組んでおられる実態と地域性を考慮し総合的に今後検討していきたいと考えています。

## 環境問題について

高島：PM2.5の注意喚起発令での市の対応ですが、三重県の方から注意喚起が発令してから亀山市が出すと云うそのプロセスが有ると思っておりますが、市独自の判断で今後注意喚起を出していくつもりは有るのか無いのか、お聞かせ下さい。

答弁：県より県内市町村に迅速な情報提供と共に、県内地域で注意喚起が発令されることになっております。今後も三重県から注意喚起を受けてから対応していきたいと思っております。

高島：県から言われたから出すのでは無くて市長初め職員の方が、亀山市民の安全、健康を守ると云う認識の基で動かなくてはならないと思っております。大陸の方から黄砂が降ってくるこの黄砂に対して注意喚起は今後どう対応するのかお聞きしたい。

答弁：黄砂については今の規定やシステムが有りませんので、県と相談していきたい

と考えています。

## LED化について

高島：議員にならせて頂い頃、LED化を促進しては如何とお話しました。防犯灯についてですが21年度4124基の内LEDは、ゼロ 次の年22基 23年度114基、24年度324基、今年は、484基これは、凄い立派な数字だと思います。今後更新・新設に関して、防犯灯はLEDを推奨していくのかお聞きします。

答弁：施設費等補助金交付要綱の改正により、既存の防犯灯でも修理の際LED化へ更新については補助対象とし、さらに推進を図っているところです。今後に於きましても計画的にLED化の推進を進めて参りたいと考えています。

高島：次に通学路街路灯についてどの様になっているのかお聞きします。

答弁：道路照明灯、通学安全灯は、平成24年現在1404基ございます。今後、支柱の損傷とか、器具自体の取り替えが必要となった場合LED灯の設置を考えています。尚、高速道路のボックスの中に設置しています蛍光灯、これはLEDに取り替えている処です。

高島：一寸待ってください。LEDの通学安全灯、道路街路灯と云うのは現在亀山市に1基も無いと云うことなんでしょうかねえ？お聞きします。

答弁：現在、LED化された通学安全灯、道路街路灯は、ございません。

高島：え？何ですって！ LED化された設備は、1基も無い・・・市長所信の中でLED化を推進しているのに防犯灯に関

しては、推進しているのに、通学安全灯、道路街路灯についてはどうしてこの様な結果になっているのか、市長所見をお伺いしたいのですが。

市長：通学安全灯LED化につきまして、当然今後もそういう方向へ行きたいと考えています。しかしながら防犯灯とは若干、構造物等々、あるいは例えば支柱が有るといいう構造も多かろうと思っております。損傷や、器具自体の取り替えが必要となった場合、LED灯の設置を考えていきたいと思っております。防犯灯がこの4年間でここまで増えてきた。まずはここをしっかりと前へ進めていきたいと思っておりますし、今の道路照明や通学安全灯につきましても今後の課題として高島議員御指摘の方向へ展開していくことには変わりはありません。

高島：支柱が有って、その支柱が腐ったら交換する。支柱が問題無く電球が切れたら電球のみを交換すれば問題無いのでは無いでしょうか？現在使用している器具自体が問題有るのか教えてください。

答弁：支柱本体自体が悪くなると交換します。その更新時期が来たときにLED灯に全体として交換させていただきます。現在球だけを交換となれば、ボックスの中に有る蛍光灯は交換できますが、水銀灯や、ナトリウムランプもございます。それを交換する事は非常に難しいし、技術的にも難しいと聞いています。ナトリウムランプは、白い光であります。例えば近隣の方が眠れないとか、稲作に影響等色々な処で有ります。ナトリウム灯をLED灯に交換するのは難しいと聞いていますが、更新の時期になったらLED化に推進していく所存です。御理解いただきたいと思っております。